

豊橋市総合運動場等

令和8年度 事業計画書

豊橋市総合運動場等指定管理者

エリアワン株式会社

令和8年2月28日

目次

1. 基本方針	1
2. 管理運営上の目標について	2
① 数値目標	2
② 主な取り組み	2・3
3. 事業実施計画について	4
① 教室・イベント	4
② 利用者サービス・広報等	5
③ アスリートバンク・地域連携等	5
4. 人員配置・育成について	6
① 人員の配置	6
② 研修計画	7
5. 維持管理業務について	8
① 維持管理業務の基本方針	8
② 施設別の特記事項	8
③ 維持管理業務実施計画	9
6. 収支予算について	10

1. 基本方針

提案時に掲げた 5 つの基本方針をもとに、管理運営に取り組みます。

① 市民とスポーツの距離を縮めます

- 様々なニーズに対応する多様性に富んだ事業展開を行います。
- 市民の方々が主体的に参画できる仕掛けづくりを行います。
- 次世代を担う子どもや障がい者の皆様、各スポーツ団体の活動を市民とともに育成します。
- 家庭や学校でのスキルアップ、健康づくりに役立つオンラインコンテンツを充実させます。

② 施設の新しい魅力や快適さ、安心を創出します

- 利用者の「あったらいいな」を形にするきめ細やかな利用者サービスを提供します。
- 同類施設の管理経験をいかし、子どもから高齢者まで幅広い方々が安全かつ快適に利用できる施設づくりを進め、長きにわたって愛される施設を目指します。
- ウェブサイトや SNS、動画や地域メディアを駆使し、施設やスポーツの魅力を発信します。

③ 地域と一体になった施設運営を実現します

- 地域や関係団体の皆様をはじめ、近隣大学機関や施設・民間企業等と連携し、一体となって施設づくりを進めていく協働型運営を目指します。
- 地元企業の活用・連携を積極的に図るとともに、地元の人材からの採用を優先的に進めます。
- 530プロギング、とよはしスポーツフェスティバル等、地域に貢献するスポーツイベントを開催します。

④ 地元アスリートと連携した次世代育成に努めます

- 地元出身や地元で活躍するアスリート（プロ・セミプロ・アマ）と連携したスポーツクリニックやセミナー、イベントを実施します。
- 小中学校の部活動の受け皿となるような次世代育成に努めます。

⑤ 公の施設としての厳格かつ安心・安全な管理運営

- 貴市への報告・連絡・相談を的確に行い、市の方針に沿った管理運営を実現します。
- 貴市管理代行者としての立場を十分に認識し、公平・公正な公共サービスの向上を図ります。
5年間にわたる本事業を安定的に継続するため、同類施設（運動公園内スポーツ施設）及び同類形態事業（複数施設一括管理）における豊富な経験・ノウハウに基づき、本事業特有のリスクに対応します。

2. 管理運営上の目標について

①数値目標

利用人数	420,000 人	利用料金 収入	24,000,000 円
------	-----------	------------	--------------

②主な取り組み

1. 管理運営体制を強化する

- 課題に対応できるよう人員配置の見直しや、研修・教育に努めます。
- 昨年度の運営を通じて得られた利用者の声をもとに、利用者に寄り添った事業企画や施設整備に取り組みます。また、今年度も引き続き利用者の声に耳を傾け、適宜、管理運営体制の見直しを行います。
- 必要に応じ、本社ならびに他部署より応援スタッフを派遣し、より良い運営体制の確立や資質向上に努めます。

2. 教室事業や各種サービスを拡充する

- 教室事業は、施設の新たな利用を促進するとともに、市民の健康づくりや次世代育成に寄与する必要不可欠な取り組みです。
- 陸上競技場改修工事完了に伴い新たな教室事業を展開し、更なる市民の健康増進に努めます。また、既存の教室事業について会員の充足率に課題があるため、広報を中心に80%の充足率を目標に取り組みます。
- 昨年度実施した利用者や地元スポーツ用品店へのヒアリング結果をもとに、商品やレンタル品のラインナップを拡充し、更なるサービス向上を行います。
- 陸上競技場、武道館の年間パスポート未購入利用者向けの「ポイントカード」を導入し、ポイントが貯まると商品が当たる制度を始めます。
- 貴市と連携して豊橋公園内および運動広場での安全対策を継続します。

3. ウェブサイト等による積極的な情報発信に努める

- ウェブサイト・SNS をより一層活用し、インターネットを中心とした積極的な広報活動に努めます。
- SNS やウェブマガジンによる情報発信を更に強化し、施設情報やイベントのお知らせの他、「楽しい」を感じてもらえるような動画配信を強化します。
- 市内スポーツ施設やこども未来館との連携を強化し、施設外でのスポーツ振興および施設PRに努めます。
- 日々の業務において市民の皆様からの声に耳を傾けるのはもちろんのこと、アンケート等を活用することで様々なご意見を賜り、より良い事業展開を推考する他、日々の業務に反映させ、更なる市民サービスに繋がります。

4. 学校への指導者派遣の継続とアスリートバンクの運用

- 昨年度は豊橋市内の小学校3校へ走り方教室の出前授業を行い、子どものスポーツ振興に寄与しました。今年度も引き続き事業を継続します。
- アスリートバンクにより豊橋市内で活動中の団体やクラブチーム、個人がハイレベルな指導を受けられる体制が整いつつあります。引き続き新たな講師の確保を行い、受講種目数の増加と運用強化を図り、次世代の育成に寄与します。

5. 地域との連携体制を強化する

- 地元企業も参加している530プロギング、お花見プロギングを継続開催し、地域連携イベントとしての認知度向上を目指します。
- 市民参加型のスポーツイベントとして、とよはしスポーツフェスティバルを開催します。トップアスリートと触れ合う最高の機会を提供します。
- こども未来館等と連携した施設外スポーツイベントを実施し、スポーツの楽しさを伝えます。
- 昨年度は地元の競技団体の大会や催し物などの情報発信を行い、スポーツの魅力を発信してきました。今年度は、更に多くの競技団体と連携し、情報発信を強化します。
- 豊橋まつりや地域イベント、スポーツ博や穂の国・豊橋ハーフマラソンにも積極的に協力および参画します。

6. アジア・アジアパラ競技大会を盛り上げます

- 令和8年度、日本では32年ぶり3度目となるアジア・アジアパラ競技大会が開催されます。開催都市名古屋を中心に地元豊橋も大会会場としてたくさんの人の出入りが予想されます。大会開催期間より前に本大会を盛り上げる取り組みを行います。

3. 事業実施計画について

①教室・イベント

◇現在実施中のコンテンツをベースに、コンテンツを拡充していきます。

※昨年度運営を通じ、提案コンテンツを実状・ニーズに則した内容に変更しています。

		提案コンテンツ	開催時期等	備考
陸上競技場		PENTA+	通年	園児、小学生向けスポーツ教室
	新	PENTA ミニ	通年	未就園児（親子教室）
	新	A1 陸上教室	通年	中学生向け、次世代の育成
		大人のリズム&ストレッチ	通年	中・高齢者向け、健康増進
	新	マラソン教室	通年	初心者、中級者向け
	新	ピラティス	通年	女性向け、健康増進
		フラダンス	通年	女性向け、健康増進
		エリアワンスプリントクリニック	夏・冬	小学生、中学生向け、次世代の育成
		エリアワン跳躍クリニック	夏・冬	中学生～一般、指導者向け、次世代の育成
		スポーツ鬼ごっこ大会	3月	小学生向け
武道館		豊橋 YOGA	通年	初心者、経験者向けの2クラス展開（柔道場）
	新	チャレンジ運動教室	通年	中・高齢者向け教室、健康増進
庭球場	新	小学生テニス教室	通年	小学生向け
	新	中学生テニス教室	通年	中学生向け
球場	新	壊さず伸ばす投球育成プログラム	4月	トップアスリートによる野球教室イベント
全体		季節装飾	通年	七夕、ハロウィン、クリスマス等
		530 プロギング・お花見プロギング	5月・3月	ゴミ拾い×ジョギング（豊橋公園・ここにこ）
	新	障がい者スポーツイベント	6月	アジア・アジアパラ競技大会種目の体験
		教え方セミナー	8月	指導者向け
		とよはしスポーツフェスティバル	11月	市民参加型イベント
		ハイパー鬼ごっこ	11月	トップアスリートと鬼ごっこ勝負、体を動かす楽しさを体験
		新年イベント	1月	施設無料開放
		ケガ防止セミナー	1月	小学生～一般向け
	新	ウォーキング大会	2月	対象年齢問わず
	新	メンタルトレーニング	3月	中学生～一般向け

② 利用者サービス・広報等

提案コンテンツ	開催時期/回数等	備考
自販機の新設（東田球場）	6月	※貴市と協議の上で実施
モーニングラン（陸上競技場）	7月・8月	熱中症対策として個人利用開場時間前延長
利用者アンケート	3月	各施設にて実施
利用者ポイントカード	通年	年間パスポート未購入者特典、再来場施策
年間パスポート特典	通年	年間パスポート購入者特典
スペースの有効活用	通年	武道館1階ロビーの空きスペースに卓球コーナーの設置を検討
スポーツめしの考案	通年	地域の飲食店と連携
物販商品・レンタル品	通年	新たな商品、レンタル品の拡充
動画コンテンツの強化	通年	イベント、施設利用団体、地元団体の活動
コンタクトセンター	通年	ウェブサイトによるご意見や苦情、トラブル通報窓口
食の確保	通年	大会、イベント開催時のキッチンカー誘致
ウェブサイト・SNSの更新	通年	豊富な話題を提供
ご意見箱の設置	通年	豊橋公園内各施設に設置継続
ウェブマガジン ※デジタル季刊誌	通年	年4回の定期広報誌

③ アスリートバンク・地域連携等

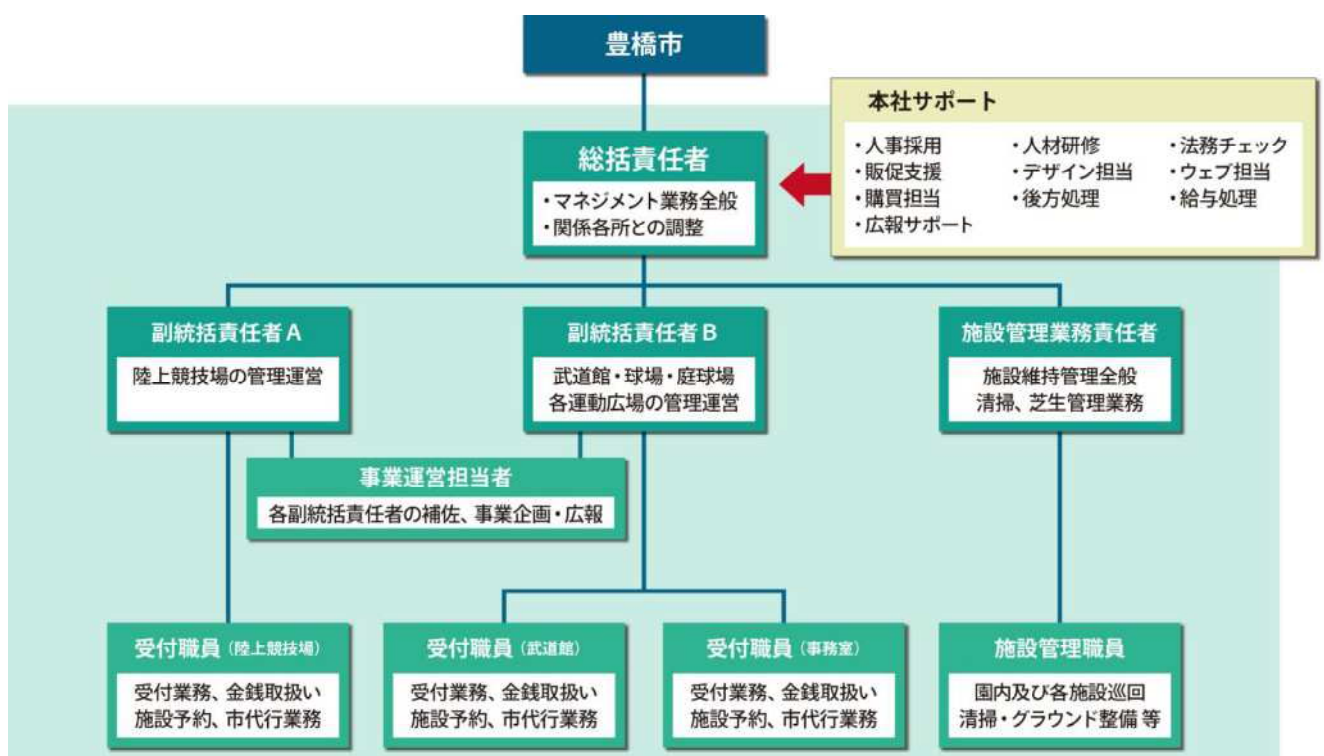
提案コンテンツ等	開催時期/回数等	備考
学校指導者の派遣	適宜	小学校の体育授業へ指導者を派遣
アスリートバンク	通年	新しい講師の確保、受講種目数の増加
各種支えるスポーツ	通年	各種団体の活動をサポート(広報等)
	イベント時	地域のチア、キッズダンス団体連携による応援ダンス
総合型地域スポーツクラブの活動をサポート	適宜	指導者の派遣や施設の利用促進
スポーツボランティアの育成	適宜	イベント運営の参加や合同研修
運営協議会	2回/年	関係団体、地元自治会
施設外スポーツイベント	年1~2回	こども未来館と連携
ポスター、チラシの配布	適宜	相互連携先の開拓、協力体制の構築
地域イベントへの協力	適宜	豊橋まつり、スポーツ博、穂の国・豊橋ハーフマラソン等

4. 人員配置・育成について

- 従事するスタッフに対しては類似施設でのノウハウをいかした人材育成（研修・指導等）を図り、次世代を担う人材として豊かな経験と専門的な知識を身につけるためのサポートを行います。

① 人員の配置

- 確固たる経験を有する人材を組織の中核として据え、指定管理開始から安定的な業務履行が可能な体制を整えるとともに、本社からの積極的なサポートを行える体制とします。



役職名	主な業務
総括責任者	マネジメント業務全般
副統括責任者 A	陸上競技場の管理運営
副統括責任者 B	武道館・球場・庭球場・運動広場の管理運営
施設管理業務責任者	施設維持管理業務全般
事業運営担当者	各副統括責任者の補佐、事業企画、広報

② 研修計画

- 全スタッフを対象とした「共通研修」と、担当業務ごとに実施する「専門研修」を設けます。また、定期的なチェックテストを実施し、知識のメンテナンスを図ります。

<研修一覧>

名称		内容	対象	計画	
対面研修	共通研修	接客接遇研修	公共サービス窓口マニュアルを踏まえた接客接遇・クレーム対応等	全スタッフ	入社時・年1回
		救命救急研修	心肺蘇生法・AED操作研修応急処置・救護、危機管理マニュアル等	全スタッフ	入社時・年1回
		指定管理者研修	法律・制度概要、行政手続・規則、事例研究等	全スタッフ	入社時・年1回
		コンプライアンス研修	情報管理・個人情報保護、金銭管理、法令・条例等	全スタッフ	入社時・年1回
		防災訓練 避難訓練	防災計画に基づく実地シミュレーション、消火器訓練、避難所対応等	全スタッフ	年2回
	専門研修	マネジメント研修	コーチング理論、経営戦略、会計管理、その他マネジメントスキル	責任者	年1回
		経理金銭管理研修	会計管理、経理処理(簿記)、法令・規則、事例研究等	責任者 経理担当	年1回
		ブランディング研修	ブランディング理論、デザイン理論、SNS・プロモーションスキル等	企画担当 広報担当	年1回
		イベント企画研修	事業企画立案スキル、集客・広報手法、危機管理等	企画担当	年1回
		インクルージョン研修	障がい者等社会的弱者への対応、LGBTQ・ジェンダー平等への認識	接客担当 広報担当	年1回
特別研修 (年度によって会社が企画指定)		SDGs研修、チームビルディング、ファシリテーションスキル PCスキル・プレゼンテーションスキル、環境教育研修 等	内容により	年間 2～4講座	
オンライン研修		ロジカルシンキング、業務効率化、交渉術、デザイン思考、行動習慣等	全スタッフ	会社指定 年12講座+任意	
定期 テスト	個人情報保護 テスト	個人情報保護に関する具体的な対応、法令解釈等に関する確認テスト	全スタッフ	年1回	
	情報セキュリティ テスト	デジタル・アナログ両面の情報管理におけるセキュリティ対策の確認テスト	全スタッフ	年1回	
	安全・危機管理 テスト	応急救護、災害時対応等に関する具体的な対応策等に関する確認テスト	全スタッフ	年1回	

5. 維持管理業務について

① 維持管理業務の基本方針

- 管理運営仕様書に基づき、利用者が安全かつ快適に利用できるように、管理施設の機能及び性能を正常に発揮できる適正な状態に維持することを目的とし、以下の事項を基本方針として維持管理業務を実施します。
 - ・ 管理施設が有する機能及び性能等を保ちます。
 - ・ 管理施設の環境を安全、快適かつ衛生的に保ち、利用者の健康被害の未然防止に努めます。
 - ・ 物理的劣化等による危険・障害等の発生の未然防止に努めます。
 - ・ 環境負荷を抑制し、環境汚染等の発生防止に努めるとともに、省資源、省エネルギーに努めます。

② 施設別の特記事項

(1) 豊橋市総合運動場、陸上競技場、東田球場

- ・ 競技会等の行事開催時には大会主催者と協議し、ライン引き、附属設備の設置及びテント設営等の事前準備を補助します。
- ・ 大会等の運営に支障をきたさないよう、グラウンドの整備、清掃を十分に行い、グラウンドコンディションの維持に万全を尽くします。
- ・ 陸上競技場は日本陸連第三種公認施設として必要な維持管理を行います。
- ・ 豊橋市総合運動場管理事務所及び豊橋市総合運動場詰所・倉庫、その他運動施設に附属する建物等の維持管理を行います。
- ・ 各施設利用者の声を聞き、維持管理品質の向上に取り組みます。

(2) 豊橋公園

- 豊橋公園内で異常を発見した場合、または利用者等から通報があった場合は、現場確認の上、貴市に報告します。また、利用者安全確保のための応急措置や現場立ち合い等の必要な協力を行います。

③ 維持管理業務実施計画

➤ 管理運営仕様書に定められた次の項目について、必要に応じ、適切に維持管理業務を行います。

施設	業務内容		備考
陸上競技場	清掃業務2	屋内トイレ清掃	24回/年
	清掃業務2	屋外西側トイレ清掃	104回/年
	消防用設備保守点検業務	消防法施行規則第31条4項に定める保守点検	2回/年
	防火対象物点検業務	消防法第8条2の2に定める点検業務	2回/年
	自家用電気工作物保安管理業務(陸上競技場)	A点検、B点検	A:1回/月、B:1回/年
	自家用電気工作物保安管理業務(陸上競技場スタンド)	A点検、B点検	A:1回/隔月、B:1回/年
	陸上競技場備品保守点検業務	電子機器、情報機器、投擲用囲い等	1回/年
	芝生管理業務	薬剤散布、除草、殺虫、殺菌、施肥等	適宜
	警備業務	SPアラームシステム(機械警備・火災警備)	通年(夜間および休場日/火災常時)
	トレーニング機器保守点検業務	スポーツ・ウエルネス製品・NISHI製品	各1回/年
武道館	清掃業務1	塩ビシート床ワックス、フローリングワックス仕上げ、ガラス清掃	4回/年
	消防用設備保守点検業務	消防法施行規則第31条4項に定める保守点検	2回/年
	自家用電気工作物保安管理業務	A点検、B点検	A:1回/隔月、B:1回/年
	貯水槽清掃業務	清掃、消毒、点検、水質検査	1回/年
	警備業務	SPアラームシステム(機械警備・火災警備)	通年(夜間および休場日/火災常時)
	公共建築物定期点検業務	建築基準法第12条の規定に基づく定期調査(建築物)	1回/3年(令和8年度対象外)
	公共建築物定期点検業務	建築基準法第12条の規定に基づく定期調査(建築設備等)	1回/年
	害虫駆除業務	害虫生息調査、駆除	2回/年
環境衛生管理業務	環境衛生管理技術者の選任	通年	
第一軟式庭球場	清掃業務1	軟式庭球場トイレ	52回/年
	自家用電気工作物保安管理業務	A点検、B点検	A:1回/隔月、B:1回/年
高師緑地青少年広場	自家用電気工作物保安管理業務	A点検、B点検	A:1回/隔月、B:1回/年
	薬剤散布業務	薬剤散布による除草	3回/年
総合運動場	消防用設備保守点検業務	消防法施行規則第31条4項に定める保守点検	2回/年
	警備業務(管理事務所)	SPアラームシステム(機械警備・火災警備)	通年(夜間および休場日/火災常時)
	警備業務(詰所)	SPアラームシステム(機械警備・火災警備)	通年(夜間および休場日/火災常時)
	廃棄物収集業務(可燃物)	事業系一般廃棄物	適宜
	廃棄物収集業務(不燃物)	事業系一般廃棄物	適宜
東田球場	日常清掃業務	屋外トイレ清掃	36回/年
	自家用電気工作物保安管理業務	A点検、B点検	A:1回/月、B:1回/年
	草刈業務(スタンド)	草刈、芝生地刈込	3回/年
	草刈業務(本部席まわり)	樹木刈込、除草	樹木刈込:1回/年、除草:3回/年
明海広場	日常清掃業務	屋外トイレ清掃	36回/年
	自家用電気工作物保安管理業務	A点検、B点検	A:1回/隔月、B:1回/年
	薬剤散布業務	薬剤散布による除草	3回/年
	し尿処理業務	屋外トイレし尿処理	1回/月
明海少年広場	し尿処理業務	屋外トイレし尿処理	1回/月

6. 収支予算について

単位：円

区分		合計	具体的な積算
収入計画	指定管理料	69,525,502	
	利用料金	24,000,000	
	自主事業収入	8,397,360	
	その他収入	6,100,000	自動販売機収入、物販収入、コピー・FAXサービス、クロスカンントリーコース休業補償
収入合計		108,022,862	

区分		合計	具体的な積算	
支出計画	人件費	給与	16,434,000	
		手当等	1,892,000	
		福利厚生費等	4,582,000	
		賃金	29,900,000	
	需用費	消耗品等	1,914,102	
		印刷製本費	100,000	ポスター等印刷
		光熱水費	21,270,000	
		燃料費	310,000	
		修繕費	2,800,000	
		食料費	0	
		販売促進費	250,000	HP・WEBシステム制作運営費等
	役務費	通信運搬費	350,000	郵送費、通信料
		手数料	100,000	
		保険料	270,000	施設賠償責任保険
		広告宣伝費	200,000	有料広告（SNS等）、広告媒体（情報誌）
	委託費	12,694,000	清掃費等 維持管理業務全般	
	賃借料	272,400	複写機リース等	
	購入費	270,000	備品等	
	事業費（自主事業）	8,397,360	自主事業に係る事業費	
	旅費交通費	40,000		
	租税公課	60,000	印紙税	
	謝金・報償費	0		
	雑費	210,000	雑草、剪定枝処理費用	
その他	3,146,000	人材育成、企画プロモーション負担金等		
本社管理費	2,561,000	労務管理、経理業務負担金等		
支出合計		108,022,862		
収支差額		0		

※必要に応じて、実態に即した内訳の見直しを別途協議させていただきます。